

この月、東京女子大学入学生院教育学部
士課程修了。19年3月、早稲田大学
士課程修了。19年4月から現職。

高い方法に着目しています。

からの研究

節には体格に基づく個人差
気温によって、体温が上が
格が異なります。これからの
、気温・体格・身体冷却と
ワードをもとに、熱中症
高い集団に対し、効果・実
暑さ対策を明らかにしてい

醍醐味と夢

ンに携わる中で生まれ
好奇心を解決していく
しさが面白く、他の研究
がら、答えに辿り着けた
醍醐味を感じます。世界
の常識は、日本のスポー
という状況がまだまだあ
ンパクトのある研究から
改善に貢献していきたい
です。

を抑制
を低下させ
、身体冷却が挙げられま
には、送風や
も
方法に改
採取し、
方法)があり
科の長谷川
身体外部・内
暑さ対策を検討しています
方法を検討する必要が